「季節の花 300」 http://www.hana300.comより (写真・説明文引用)

鈴蘭水仙 (すずらんすいせん) 花言葉…青春の喜び、切望など

開花時期は、3/5~ 4/末頃。地中海沿岸原産。垂れ下がったようすがおもしろい。鈴蘭のような、水仙のような・・。うまいネーミング♪別名「スノーフレーク」。"小雪のかたまり"といった意味。

花のお便り

2020.3 No.165

E-mail: info@miyazaki-p.co.jp http://www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2 TEL. 03-5384-1331 · FAX. 03-3305-2528

人間不思議なもので、この歳になると風邪の症状もないのに、突然大きなくしゃみが出たりする。そんな時、コロナウイルス、はたまた花粉かなと先回りをしてしまう。今年は温暖化による高温で花粉も多いようだが、そこへ突然肺炎を引き起こすウイルスの発生と言うダブルパンチとなり、世界中が右往左往している。個人的には同窓会を始め、身の回りのイベントが軒並み中止か延期となり始めた。



巨大デジタル印刷機の進歩が凄ましい

高性能なデジタル印刷機が出現して約20年近くとなるが、それはサイズがA3と小型な、所謂オンデマンド印刷機であったが、近頃はB1サイズの、超高速インクジェット印刷機なるものが製造されている。両面4色印刷で、用紙サイズが750×1050ミリとかなり大きい。これまでのデジタル印刷機は、印刷用紙にトナーを直接吹きかけていたが、この機械は違う。オフセット印刷機のように、ブランケットと言う版胴に、これも海外のメーカーと開発した、ナノインクと言うトナーを吹きかけ、印刷用紙に転写させる。一瞬のうちに乾燥し、裏写りすることはない。まさにデジタルとアナログなオフセット印刷の技術が融合したものだ。将来的には、デジタル印刷機が主流になる時代になることは間違い無いが、まだまだ職人の技が光る時代は続く。



気きぐれて マセイ 河津桜見学のあと猪鍋に舌鼓



夜明け前の地元を4時20分に出発。4時40分に向ヶ丘遊園で妻の妹も合流、一路河津へ。この時間なら8時30分には余裕をもって河津へ到着と目論む。長泉沼津で伊豆縦貫道へ入ると途端に渋滞となるがすぐに解消。行きも帰りもこのような渋滞は度々あったが、原因は料金所がETCでないこと

と、上り坂がおもな原因だった。思惑通りには行かなかったが、それでも9時には市役所の臨時駐車場に到着。菜の花と河津桜のマッチングが最高。花

の大部分は残っているが、葉桜が多い。堤はコロナウイルスの心配をよそに大賑わいで、露天の呼び込みも元気がいい。ついつい色々なお土産を買ってしまう。1kmくらいで桜もほぼ終わり、2年前に行った魚屋をさがす。金目鯛の開きは大きく旨そう、以前は3000円で買ったが、今回2000円だが女性軍に反対され、えぼ鯛に格下げ。東京ラスクで買い物

し、猪鍋の「ささの」へ、 幸運にも私たちで満席、 その後10人位が並ぶ。3 人で2人前の猪鍋とうど んで満腹。とても美味し い、特に脂身はサクッと 歯が入り、淡白で旨い。



みやざき印刷ホームページにて 気まぐれエッセイ随時更新中!

